

令和5年10月30日(月)  
思いやりセンター2階会議室  
14時00分～16時00分

【欠席】福田委員、花田委員、石井委員

【開会】

1. 委員長あいさつ

加藤委員長、榊原委員あいさつ

役場職員（総合戦略プロジェクトチーム員3名）あいさつ

2. 議事

議題（1）前回の振り返り 資料1

【事務局】

資料1 およびパワーポイントで説明

【質疑】

「若者や子育て世代に選ばれるまちになる」分野について

委員)

児童クラブの定員の状況はどうか。働き続けられる環境のためには、児童クラブの充実  
は大切と思うが。

事務局)

切迫した状況であり、数年前に緑丘小学校児童クラブを増設した。今後富貴児童クラブ  
の増設を予定している。

委員)

味の蔵たけとよの品ぞろえを充実させたほうが良いのでは。魅力を高められる部分がま  
だまだあると思う。各地方のフェアだけでなく、武豊町にもいろいろなお店があるので、  
それらを集めるともっと面白い場所になるのでは。

事務局)

スペースの問題などもあるが、頂いた意見を参考に、産業課のほうへも伝えていきたい。

委員)

広報誌に載っている憩いのサロンに関して、介護予防に関するデータが非常に興味深い。今後、更に分析を深めてもらえるとういと思う。

委員)

中学生を始めとした若年層がボランティアをする場所が減ってきている。ボランティアをする場へ繋ぐといったことがもっとできるようになれば。

事務局)

町主催のイベントでボランティアを募っていることはある。ボランティアに携われる場へ繋ぐことについては、協働の観点からも大切にしたい。今後の課題である。

委員)

若い世代がボランティアだけでなく、意思決定の場に出られるとういと思う。

委員長)

本日頂いた意見を、町のほうで留めておいてもらって、できる部分から対応を検討してもらえればと思います。

## 議題(2) LINEの活用について(グループワーク)

グループワークのテーマ①

【情報発信に関する委員(住民側)と行政側の認識について】

発信側(行政側)が情報発信ツールとして利用しているもの

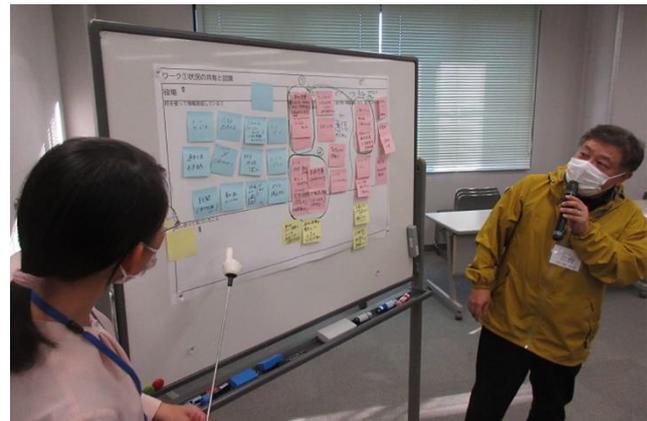
- ・ホームページ
- ・広報誌
- ・通知文(手紙)
- ・メールサービス
- ・防災無線
- ・ポスター掲示
- ・チラシ配布



- ・ X (旧ツイッター)
- ・ Youtube
- ・ 新聞
- ・ LINE (防災情報)
- ・ セミナー 等

受信側 (住民側) が行政情報を得る際に  
利用しているツール

- ・ 広報誌
- ・ ホームページ
- ・ 口コミ
- ・ 窓口
- ・ チラシ
- ・ tetoru (学校の配信ツール)
- ・ メールサービス
- ・ LINE (防災情報のみ)
- ・ 回覧板 など



ワークをする中での気づき (出た意見)

- ・ 自治区に加入していないと、広報誌が各世帯へ届かないのはいかなるものか。
- ・ マチイロというアプリを使うと広報誌の電子版が見られる。PDF 形式のため、検索がしにくい。
- ・ 緊急情報は、防災無線だけでなく SNS やメール等でも一斉配信できるとよい。
- ・ HP では専門用語が多く、わかりにくい。
- ・ 情報を得るための検索技術が必要。
- ・ アナログではあるが、役場の総合案内係が詳しいので、聞けばおおよそわかるという安心感がある。
- ・ HP などのデジタルツールは若年層～壮年層、紙媒体などのアナログツールは高齢者層が主な情報収集源としているのではないだろうか。
- ・ 紙媒体は振り返りがしやすい。

## グループワークのテーマ② 【LINE の活用に関すること】

### 2-1 LINE を活用することで、ワーク①の課題は変えられるだろうか？

- ・ LINE を導入したとしても、メール配信や HP 等との併用は必要。
- ・ セグメントを分けて情報を提供する等ニーズに応じた情報提供が可能。
- ・ 双方向のコミュニケーション向上
- ・ 情報へアクセスしやすくなる
- ・ チャットボットによる検索
- ・ 隣組活動の負担軽減（広報を配布する負担が減る）

### 2-2 LINE の使い方で考えられること

- ・ イベントの様子ができるような発信・投稿ができる
- ・ アンケート等での意見集約がやりやすい
- ・ セグメント配信
- ・ 健診予約
- ・ イベント周知



### 2-3 LINE 活用に関し課題となりえること

- ・ 個人情報の管理
- ・ 登録者をいかに増やすか
- ・ 自治体の財政負担増
- ・ 問い合わせが増える、発信の回数が増えていくことによる自治体職員の負担増
- ・ LINE を利用していない人へのフォロー
- ・ 発信が多すぎてブロックされる可能性



事務局)

頂いた意見を踏まえ、LINE の活用について検討を深めていきたい。特に登録者数が増えないことには、情報がいきわたらないので、どのように増やすかが最も大きい課題かと思っている。

### 3. その他 スケジュールについて 資料2

事務局)

次回は2月頃を予定。総合戦略の別冊に関することや、本日議論していただいた LINE に関する進捗の報告等が中心になる予定。

以 上